

令和 7 年度 事業計画

(法人本部)

理 念 「ほっと にこっと あふれる元氣」

～温かさで癒され、優しさで励まされ、笑顔と笑顔の育ち合い～

令和七年 業務効率化の推進
職員育成強化

役員会

○監事会

令和六年度監事監査報告の作成

○理事会（年 4 回）

令和六年度監事監査報告及び決算書等の承認、評議員会への提出

事業計画及び当初予算の承認、規程等の変更

評議員選任解任委員会の招集決定

役員改選案、評議員会の招集決定

○評議員会

役員の選任・解任

決算等の承認

※その他、必要に応じて
議案として付議する

令和7年度 事業計画（目標）

- 1 令和6年度に引き続き、子どもを取り巻く社会全体の様々な変化に対応するべく情報収集及び保育の見直し等検討・実践する。

- ・子ども自身の能力を信じ、保育者が一方的に与える保育ではなく、子ども自らが保育者の行う各々の月齢に合った環境設定の中で自分で選択して決断できる力を育み、子どもが将来自律して人生の課題を自分で超えることが出来るように子どもの発達を最大限に促すことを目的とする。
- ・東京都の「すくわくプログラム推進事業」「誰でも通園制度試行」実施。
- ・保育ICT化の更なる推進により、業務効率化、保護者満足度向上を目指す。

- 2 心身の健康の増進とその健全な発達を促す

- ・食育の充実・バイキング給食・魚の解体ショーを計画中。
- ・食育に関しては、農家と提携し作物の収穫・田植え稲刈り等を経験することにより、育てる喜び・感謝・命の尊さ等を学ぶことを目的とする。
- ・アレルギー児に対する対応、異職種会議の徹底、保護者との面談を通して、アレルギーへの理解を深める。
- ・日本文化への理解を深める（舞・落語）
将来国際社会での活躍も考えられる子ども達が、自国への理解を深め、日本人としての誇りを持てる事を目的とする。
- ・防災教育、環境教育、感染症対策の更なる徹底に努める。
- ・コーディネーショントレーニングの更なる向上（脳と身体を刺激し楽しく遊びながらやる気と運動能力を高める。）
- ・ピラミッドメソッドをベースにしたプロジェクト型保育を推進し定着を図る。
- ・虐待防止に対し職員への研修の徹底、人権チェックシートによる自己点検と共に園児の教育、保護者への啓蒙を行う。

- 3 地域に向けて

- ・ひろば事業（地域子育て家庭及び出産を控えた家族対象）、育児講座、デイケアセンターとの交流及び地域貢献事業（ねりま社会福祉法人等ねっと）での連携・活動を更に拡大する。
- ・近年増加中の支援が必要な子育て家庭の為、関係機関との連携を強化する。

- 4 職員育成環境改善

- ・人材育成を目的とするカウンセリング研修やアンガーマネジメント研修、危機管理研修、職員のITリテラシーの更なる向上等。又ヒアリングシート、目標管理シート、Google アンケートなどを用

い職員の各々の思いや意欲の向上に努め、良好な職場環境を目指し常に努力する。

- ・職員の心身の健康意欲向上の為、表彰制度、人事考課制度の再構築、係への特別手当、有休休暇取得率の向上、年間を通しての付与等に努める。完全週休二日制実施。人事関係事務の業務効率化を進める。
- ・子育て中、子育て後の職員の働き方や、その他の職員のフォローの体制について考える。
- ・オランダの政府教育評価機構によって開発された幼児教育法（ピラミッド・メソッド）をベースにしたプロジェクト型保育を推進するにあたり引き続き研修を重ねていく。
- ・すくわくプロジェクトを実施するにあたり重要な「対話」の力を育むため、ファシリテーターの専門家に定期的に学ぶ。
- ・保育所に於ける自己評価の視点を広げ実施し、保育の質の向上につなげてゆく。

令和7年度 事業計画（目標）についての想定されるリスク

1. 令和6年度に引き続き、子どもを取り巻く社会全体の様々な変化に対応するべく情報収集及び保育の見直し等検討・実践する。

- ・主体的な保育をより進めるにあたり、放任保育にならないよう OJT 及び、ピラミード研修等多く職員の学びの機会が必要。研修・対話時間の確保が課題。
- ・様々な家庭環境の中、発達の遅れや集団保育をするうえで配慮が必要な子どもが増加している事を踏まえ、ひとり一人への個別対応が更に必要となってくる。
- ・「子どもの心に寄り添い養護の働きと教育の本来の意味を見失う事なく、その豊かな育ちを保障する事を目的とする。」を常に意識し、振り返れるよう工夫したい。
- ・「すくわくプロジェクト」や「誰でも通園制度試行」などへの取り組みに対して負担感のみが増加しない様に、目的の丁寧な共有と手当や職員増などに取り組みたい。

2. 心身の健康の増進とその健全な発達を促す

- ・魚の解体ショーや農作業等の経験、本物に触れる活動は、活動行程の危険増・子ども達の負担増・職員の負担増等考えられる。リスクマネジメントをしっかりと行い、怪我無く安全に、そしてそれ以上に子ども達にとって有意義な活動になるように計画したい。
- ・ピラミッドメソッドをベースにしたプロジェクト型保育を実施するにあたり、無理なく丁寧な環境設定と対話による振り返りが必要。
- ・虐待防止や不適切保育など、社会的に注目されている事もあり、誤解を生まないような働きかけをするとともに、研修やセルフチェックを徹底する。

3. 地域に向けて

- ・パートナー登録も増え、地域子育て支援事業も活気が出てきた、昨年度来園いただけなかった妊婦さんも年間を通して参加しやすいように計画している。更に周知の方法を検討したい。

4. 職員育成/環境改善

- ・完全週休二日制導入にあたり、年度当初は有給取得率低下となる可能性も考え、計画的に有給取得を促していきたい。
- ・研修増や新しい保育の実施など、職員の負担増にならないように、主体的に関われるよう丁寧な説明と無理のない進め方が必要。
- ・ICT化による業務効率化推進にあたり、専門家の意見を参考に生成 AI など活用しながら、保育園に関わる全ての人に良い環境になるように進めていきたい。

令和7年度 事業計画

練馬二葉保育園

[職 員]

職員会議（月1～2回）、幼児会議・乳児会議（月1回）、リーダー会議（月1回）、
フロアー会議（月1回）、給食（異職種）会議（月1回）、クラス別会議（月3回）、
反省会議（各行事後）、個別懇談（年2～3回）、進級引継会議（年1～2回）、
企画会議（行事前、年6～7回）、ルーキー会議（年6回）

[保護者]

入園進級式、クラス別懇談、ティータイム、親子遠足、講演会、
緊急メール配信訓練、保護者参観、運動会、発表会、卒園式

[災害対策]

避難訓練（月1回）、水害訓練（年1回）、緊急メール配信訓練（年1回）、
防犯訓練（年3回）、
防犯設備の保守・点検、建築設備の定期検査（年1回及び3年に1回）

[実習生の受入れ]

秋草学園短期大学 東京教育専門学校 こども教育宝仙大学 他

[小学校との連携]

保育士と教員の連携（4～5月、12～1月・意見交換の場を設ける）
児童要録の記入及び提出（2月）
幼児と児童の交流（6～8月及び10月、2月・小学校訪問）
保護者の理解（4月、10～12月、2～3月）

[地域との交流]

消防・警察への七夕飾りプレゼント、町内盆踊り参加、
敬老の日プレゼント、ハロウィンパレード、
町内消防訓練参加、学童クラブ体験、小学生町探検、
中学生職場体験受け入れ、地域子育て家庭対象「育児講座」、
地域子育て家庭へ保育室開放「みんなのひろば」実施
近隣小学校との交流

[施設整備]

不具合箇所の修繕

[非常用備品]

無線携帯電話、非常用食品、飲料水、毛布、布団、簡易トイレ、ラジオ、梯子、
コンロ、ローソク、非常用燃料、懐中電灯、スロープ、可搬式非常用電源

[職員福利厚生]

音楽鑑賞、食事会、舞鑑賞、自転車等賠償責任保険加入、園服支給
インフルエンザ予防接種半額負担、借上げ社宅制度

[illegible]

令和7年度 職員研修計画

	研修内容	研修職員	予 算		研修内容	研修職員	予 算
年 間	園内研修	全職員		9 月	地唄舞指導	3～5 才児 担当職員	
4 月	0 才児研修	看護師 乳児担当他			危機管理	全職員	
	新任職員研修	新任職員		10 月	対話研修	全職員	30,000
5 月	救命講習 (普通)	無資格 職員			リーダー向け研修	中堅職員	
	カウンセリング 研修	職員	70,000		保健・アレルギー 研修	看護師	
6 月	保育研究大会	対象職員	10,000	11 月	園内研修 ピラミーデ	全職員	80,000
	新任職員研修	新任職員	10,000	12 月	発表会 (他見学)	リーダー 希望職員	10,000
	園内研修 ピラミーデ	保育士	80,000		コオディネーショ ンブロンズ資格	対象職員	30,000
	児童虐待研修	全職員		1 月	対話研修	全職員	30,000
	対話研修	全職員	30,000		緊急時対応訓練	保育士 看護師	
7 月	キャリアパス研修	副主任 リーダー			園内研修 ピラミーデ	全職員	80,000
	Canva・生成 AI 研修	全職員	22,000	2 月	事故予防・安全対策 研修	全職員	
	夏期研修	全職員			ピラミーデ 認定研修	リーダー	52,000
8 月	夏期研修	全職員		3 月	園内研修 ピラミーデ	全職員	80,000
9 月	救命講習 (上級)	資格更新 職員			人権擁護研修	全職員	
	保育実技	保育士					
	対話研修	全職員	30,000				

令和7年度 自衛消防訓練予定

練馬二葉保育園、保育ルームふていば

訓練日	訓練 種別	内 容	備 考
4月28日(月)	総合訓練	地震 想定	
5月27日(火)	総合訓練	火災 想定	
6月24日(火)	総合訓練	火災 想定	
7月15日(火)	総合訓練	地震 想定	
8月8日(金)	総合訓練	地震 想定	
9月1日(月)	引き取り訓練	地震 想定	
10月21日(火)	総合訓練	火災 想定	
11月18日(火)	総合訓練	火災 想定	防災学習(起震車)
12月8日(月)	総合訓練	水害 想定	
12月23日(火)	総合訓練	地震 想定	
1月20日(火)	総合訓練	火災 想定	
2月17日(火)	総合訓練	火災 想定	
3月5日(木)	総合訓練	地震 想定	

※総合訓練(消火・通報・避難)

令和7年度 防犯訓練

訓練日	訓練内容	備 考
5月28日(水)	1Fより不審者侵入	
8月1日(金)	警察による講習会	
12月17日(水)	1Fより不審者侵入	

避難訓練年間計画(3～5歳児)

令和7年度

月	想定	月間目標	留意点
4月	地震 午前(10:20)	・ ベルの音に驚かず、地震発生時の避難方法がわかる。	・ 非常ベルの音の意味や地震の時はどうしたら良いか、良く子どもたちと話し合う。 ・ 防災頭巾の被り方も良く訓練する。
5月	火災 午前(10:20)	・ 保育士の話を聞き、安全な避難方法がわかる。	・ 火災の怖さを子ども達とよく話し合い、避難の方法をわかりやすく伝える。
6月	火災 (スロープ) 午前(10:15)	・ “おかしも”が分かり、安全な避難方法が身に付く。	・ “おかしも”の意味が分かるように、子ども達とよく話し合う。
7月	地震 午後(16:15)	・ 外に避難することがあることを知り、自分で避難用靴を履こうとする。	・ 防災頭巾の被り方や、保育士の指示を良く聞くことができるようにする。
8月	地震 午前(9:50)	・ 地震時の避難方法が身に付く。	・ 地震時の約束をよく話し合い、避難方法が定着したかを確認していく。
9月	地震 (引き取り訓練) 午後(16:45)	・ 自分で防災頭巾や避難用靴を素早く身に付けることができる。	・ 防災頭巾・避難用靴を素早く子ども達に渡す。
10月	火災 (調理室出火) 午前(10:20) (第二避難場所へ避難)	・ 迅速に安全に避難する方法がわかる。 ・ 第二避難場所へ速やかに避難靴を履いて安全に避難する。	・ 出火場所が分かったら、どちらに逃げたらよいのかが分かるように子ども達に説明し、早く逃げられるようにしていく。
11月	火災 (スロープ) 午前(9:50)	・ 迅速に、安全にスロープや階段を使って避難する方法がわかる。	・ 避難時の注意事項を子ども達とよく話し合い、安全に迅速に行動できるようにしていく。
12月	水害 午前(10:00)	・ 水害・火災・地震・不審者様々な場合での避難方法の違いが分かる。 ・ 保育士の指示を聞き慌てずに避難できる。	・ 各災害時、何が違い、どのような事に気を付け避難したらいいのか子どもたちに伝えていく。
12月	地震 (夕方保育時) 午後(17:00)	・ どんな時間帯でも、落ち着いて保育士の話が聞け、避難できる。 ・ 自分の身を守るための方法がわかる。	・ どんな時間帯でも、どの保育士の指示でも守ることができるようにしていく。
1月	火災 午後(16:10)	・ 避難訓練を通して、生命の大切さを知り、自分の命を守るためにどう逃げたら速いかが分かる。	・ 命の大切さを子ども達に知らせると共に、正しい避難方法を身に付けるようにしていく。
2月	火災 (スロープ) 午前(11:00)	・ “おかしも”を守って、安全な避難方法が身に付く。	・ 自分の命を守るためにはどうしたら良いのかを子ども達と話し合うと共に、毎月の避難訓練の大切さを知らせていく。
3月	地震 午前(10:00)	・ 地震時の身の守り方が分かり、自分の命を守ることができる。	・ 命の大切さを子ども達に知らせると共に、正しい避難方法を身に付けるようにしていく。

※ 乳児の目標:乳児は安心して保育士と一緒に避難できるようにする。

避難訓練年間計画

職員

令和7年度

月	想定	月間目標	留意点
4月	地震 午前(10:20)	○職員の役割分担を確認しておき、すぐに動いたり、指示出しが出来る。	○初めてのクラスでの訓練となるので、子どもたちが落ち着いて指示に従えるように、日頃から話し合いをしておく。
5月	火災 午前(10:20)	○子ども達に的確な指示を出し、安全に外へ避難誘導する。	○静かに慌てないで安全に避難できるよう援助していく。
6月	火災 (スロープ) 午後(10:15)	○事前に子ども達とよく話し合い、“おかしも”を守って避難できるよう誘導する。	○出火場所・避難方向を明確に伝え、約束を守りながら、間違えずに避難できるよう誘導する。
7月	地震 午前(16:15)	○静かに安全な場所に避難できるよう、指示を出す。 ○防災頭巾を自分で被ったり、避難用靴を履けるようにする。	○全体に目を配り、防災頭巾の被り方や避難方法を援助していく。 ○防災頭巾をうまく被れない子や、靴を履けない子へは素早く対応する。
8月	地震 午前(9:50)	○慌てず安全に避難できるよう指示を出し、全体をよく見て子ども達の様子を確認する。	○避難時の約束を確認し、避難方法が正しいか、目を配って援助していく。
9月	地震 引き取り訓練 午後(16:45)	○ 防災頭巾や避難用靴を、素早く身に付けられるようにする。	○落ち着いて、すぐに安全な場所に避難できるように援助する。
10月	火災（第一避難 場所へ避難） (調理室出火)午 前(10:20)	○子ども達が方向を間違えずに迅速に避難できるよう誘導する。	○避難方向を的確に伝え、間違えずに速く安全に避難できるようにする。
11月	火災 (スロープ) 午前(9:50)	○迅速、安全に全員がスロープや階段を使用して、戸外に避難できるよう誘導する。	○スロープと階段の状況を見て、どちらの方で降りれば良いか指示を出していく。 ○各クラスと連携をとり、迅速に避難できるよう協力体制をとっていく。
12月	水害 午前(10:00)	○水害時の避難方法が分かるように伝えていく。	○適確に分かりやすい指示を出せるようにする。
	地震 夕方保育時 午後(17:00)	○どんな時間帯でも、どのクラスの子どもにでも的確に指示を出す。	○静かに保育士の指示に従って、行動できるようにしていく。
1月	火災 午後(16:10)	○命の大切さを知らせると共に、正しい避難方法を身に付けさせる。	○出火場所・避難方向を明確に伝え、迅速に避難できるようにする。
2月	火災 (スロープ) 午前(11:00)	○自分の命を守るためにどうすれば良いかを伝えていく。	○スロープと階段の速く降りられる方に誘導していく。 ○子ども達に分かりやすく命の大切さを話していく。
3月	地震 午前(10:00)	○命の大切さを知らせると共に正しい避難方法を身に付けさせる。	○ 確実に安全に身を守れているかクラス全体を確認し、援助していく。

※ 乳児の目標:乳児は安心して保育士と一緒に避難できるようにする。